

ID No.	3063
研究課題名	臨床応用のための iNKT 細胞活性化物質探索
研究代表者	名取 威徳 (帝京平成大学・教授)
研究組織	
受入教員	渡会 浩志 (東京大学医科学研究所・特任准教授)
研究分担者	小松 俊哉 (帝京平成大学・教授) 赤木 祐介 (帝京平成大学・助教) 山本 萌 (帝京平成大学・薬学5年生)
研究報告書	
<p>1) 天然物由来のiNKT細胞活性化物質であるagelasphinsを沖縄産海綿より単離することを目的として、海綿動物（湿重量約100 g）の凍結乾燥、抽出、精製を実施した。精製を進めた結果、agelasphin類およびその類縁体と考えられるスポットの単離に成功した。取得量が少なく、夾雑物が残ることから、さらに精製とその詳細な構造を解析中である。</p> <p>2) 有機合成的に光学活性なagelasphinアナログを合成する計画を立て、原料となる化合物の調達、および光学分割用のカラムの調達を完了した。具体的には長鎖脂肪酸をoxadiridine誘導体で酸化するデーヴィス酸化により立体選択的に水酸基を導入し、光学分割カラムで光学純度を確認予定である。また長鎖塩基関連試薬を購入した。</p> <p>※受入教員異動に伴い共同研究を終了。</p>	